

笠間市地域おこし協力隊 活動報告

No. 35

プロフィール やなぎさわ あきら 柳澤 明 (58歳) 埼玉県より移住

笠間市には30年ほど前に、笠間稲荷神社に初詣で訪れて以来しばらくご縁がなかったのですが、移住体験ツアーに参加して、改めて自然、文化、伝統、観光、農業とさまざまな分野で魅力にあふれている地域だと感じ、地域おこし協力隊に応募しました。

農業分野での地域おこしの協力が担当ですが、農業自体、非常にたくさんのテーマがあると思いますので、地域の皆さんからお話を聞きながら、具体的な活動を見つけていきたいと思っています。もともとは広告会社に30年ほど勤めていたので、農業を始めとして、笠間の魅力を少しでも広められたらと考えています。

ただ今、勉強を兼ねていろいろな行事に参加させてもらっていますので、姿を見かけたら気軽に声をかけていただければ幸いです。趣味では日本将棋連盟の普及指導員の資格を持っているので、将棋でも地域の皆さまとつながっていただけられしく思います。よろしくお祈りします！



陶炎祭にて



酒米田植えにて

地域おこし協力隊とは



地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

ブログやフェイスブックも ブログ▶<http://ameblo.jp/kasamart-wa/>
ご覧ください facebook▶<https://www.facebook.com/Kasamartowa>

【問合せ】まちづくり推進課 (内線538)

Jordan's ジョーダズビュー

vol.9 View

今月は特別なジョーダズビューです！AETとして北川根小学校に赴任しているミレイ先生が8月に日本を離れることになりました。そこで一年間の思い出や笠間での生活などについてインタビューをしてみました。

日本に住むようになったきっかけは何ですか

JETプログラムで派遣され、昨年8月から日本に住むようになりました。10歳まで益子町で育ち、その頃から、大人になったら日本に帰ってくるのが夢でしたが、生まれ育った町のこんなに近くに住むことになるとは、夢にも思わなかったです。

北川根小学校での仕事の様子を教えてください

北川根小学校は最高です。人数の少ない学校ですが、だからこそ児童たち一人一人とのつながりがとても強いです。英語の授業以外でも教室外で楽しく英語活動ができました。北川根小の伝統の一つは「誰にでも明るくあいさつができること」で、英語でも自信を持って、元気にあいさつができるようになったことをうれしく思います。

来日から約一年が経って、笠間市での生活はどうでしたか

友だちを作り、地元の行事に参加することで、日本での毎日の生活がとても豊かになりました。近所の方にあいさつをしたり、偶然知り合いにばったり会って話を始めたり、そんな何気ないことから日本で生活をしている実感が持てました。

笠間の方へメッセージを

笠間市の皆さん、この一年間、笠間の住民として温かく受け入れてくれてどうもありがとうございました。またいつか笠間に帰ってきますので、その時はどうぞよろしくお祈りします！

ミレイさんの好きな料理、帰国後の計画などインタビューをフルで読みたい方は、CIRブログに英語と日本語で掲載しているので、ぜひチェックしてください♪



サマーイングリッシュフェスティバルでのミレイ先生

CIRブログ「Keeping up with Kasama」 URL:www.kasamacitycir.wordpress.org